



日本臨床発達心理士会
群馬支部 主催

2018年度 一般公開研修会

「不登校」を どう支えるか

フリースクールの現状と教育機会確保法から考える

日時

2018年 **11月17日** | 土 |
13:30～16:30 (受付 13:00～)

20歳未満 /
無料

20歳以上 /
500円

会場

群馬県社会福祉総合センター・大ホール (定員: 320名)
前橋市新前橋町 13-12 / Tel.027-255-6000

◎両毛線・上越線 新前橋駅より徒歩5分

◎構内駐車場 90台

※構内駐車場のご利用に際しては警備員の指示にお従いください。
構内駐車場が混雑している場合には構外駐車場へのご案内となります。
※当日は混雑が予想されます。
ご来場の際には公共交通機関をご利用ください。

基調講演

講師

中村 国生 氏 (東京シューレ理事)

*1985年に開設された東京シューレは、不登校を経験している子どもを中心に、子ども・若者の学びや成長を以下のような多様な事業を通して、総合的に支援しています。フリースクール、新しいタイプの私立中学校、ホームエデュケーション、親・保護者の会、教育委員会・適応指導教室との連携など。

司会

宮内 洋 氏 (群馬県立女子大学教授)

後援：群馬県教育委員会

今年度の一般公開研修会のテーマは「不登校」です。文部科学省の調査では、不登校児童生徒数が2016年度に、小学生は初めて3万人を超え、中学生は再び10万人を超えました。全児童生徒数における割合は、過去最大の数値となりました。このような中、昨年に「教育機会確保法」が施行されました。この法律の施行によって、「不登校」をめぐる国内の状況は確かに変わったと言えるでしょう。

本研修会では、「不登校」について、フリースクールの現場で長年活動されてきた中村国生氏をお招きし、教育機会確保法の詳しい解説も含めて、お話をさせていただきます。最後には、フロアの皆様からのご質問にお答えする時間も設ける予定です。

日本臨床発達心理士資格更新研修会(1ポイント)を兼ねています。会員の方は、当日IDカードをお持ちください。

お問い合わせ先

jocdpgunma2018@yahoo.co.jp | お申し込みは不要です!